Ⅵ　全体構想図

学習指導要領
県・市教育行政方針
今日的課題

学校教育目標

豊かな心と優れた知力をもち、心身ともにたくましく生きる児童の育成

思いやりのある子
自ら学び考える子
心も体もたくましい子

児童の実態
教師の願い
保護者の願い

研修主題

算数科において考え表現する力を身に付けた児童の育成

―追究する過程において言葉や式、図などを使って表現する活動の工夫を通して―

研修のねらい

追究する過程において言葉や式、図などを使って表現する活動を工夫すれば、考え表現する力を身に付けた児童が育成できることを、実践を通して明らかにする。

身に付けたい力

―― 算数科における考え表現する力 ――

◎課題解決への意欲をもち、
基礎的な知識・技能を身に付け
自他の考えを表現する力

「課題解決への意欲をもち」とは	「基礎的な知識・技能を身に付け」とは	「自他の考えを表現する力」とは
学習課題に対して、数直線や図などを活用して解決の見通しをもち、筋道を立てて考えることにより自力解決しようとすること。	学習課題を解決するために必要な知識・技能を身に付けること。	・自分の考えを、言葉や式、図などを根拠にして説明すること。 ・各自の考えを言葉や式、図などを根拠にして比較検討し、よりよい方法、共通点や相違点を見付け考えを深めること。

手だて

1　自力解決の場面で、一人一人が自分なりの考えをもつ際、問題を言葉や式、図などを使ってイメージしながら、筋道を立てて解くようにする。
2　交流する場面で、全体やグループで発表する際、説明する視点を明確にもたせ、言葉や式、図などを使って自分や友達の考えを説明できるようにする。
3　比較検討する場面で、よりよい方法を見付けたり、共通点や相違点を見付けたりする際、ねらいに結び付く視点をもたせ、言葉や式、図などを使って説明できるようにする。